- コラム「言葉がメルトするとき」
- ・お知らせ(鮎喰川クリーンアップ、 新年会、中学生職場体験)
- ・太陽と緑の会からの助成報告
- · 協力者名簿/編集後記

NPO法人 太陽と緑の会

かわら版

181号/2018 **Since 1984**

「言葉がメルトするとき」

杉浦 良

むかしむかし大学に入りたての頃、京都の歴史資料館ロビーで学生2人が議論していました。何を議論していたかは全く記憶にありませんが、ただ私の知らない難しい言葉を沢山使いながら、喧々諤々と討論していた姿のイメージが私の記憶にあります。

当時、難解な言葉を駆使しながら議論することが、どこか格好良いという風潮があったのでしょうか、フランスやドイツの哲学者の名前を知らないということ自体、恥ずかしいというか人格的に未熟であるという烙印を押されたような雰囲気もありました。狭い下宿にコタツが一つ、共同炊事場、共同トイレ(汲取り式)、共用冷蔵庫、テレビアンテナ自体がなく、週に1、2度銭湯に行くという、今しか知らない方から見れば、信じがたいような学生生活でした。



月に1回の給料日。ハンディを持ったメンバー本人が給料を受け取りサインをします。

そんな頃に、養育困難な重度の知的障害の子供たちが生活する施設を知りました。10 畳ほどの部屋に2段ベッドが5つ、子供たちを世話する指導員の寮の広さは3畳、共同トイレと洗面台が外に置かれ、お風呂は週2回、子供たちの入浴後です。週一回子供たちとの夜の交流会後、職員の方々から時々お酒の誘いがありました。難解な本も沢山あり、多分難しい言葉を駆使されるであろう雰囲気の中で、むしろ難解な言葉が飛び交わずに、随分普通の、ふわっと優しい言葉が交わされます。

「だんだん馴染んでくると、指導員かここの子供(成人後のメンバーも多いがそう呼ばれていた)か区別がつかんようになってくるね・・、顔つきまで似たりして・・」 そんな他愛のない話が流れていきます。

時が過ぎ、私が障害者福祉に関わるようになって、実はそんな他愛のない言葉には次のような深い意味があることに気が付きます。

「言葉がない子とどう関係を構築していこうか、と掘り下げていくと、言葉のない世界に行き当たり、子供の表情やしぐさ、動きや顔色、後姿や声の出し方などノンバーバルな世界をどう把握か?という命題に直面する・・。するとそれまで言葉化された意味が溶け出して、こんな表情やしぐさ、そんな動きや顔色、あんな後姿や声の出し方に変わっていく・・。するといつの間にか自分の表情やしぐさ、動きや顔色、後姿や声の出し方に意味が移っていく・・言葉のない子のように・・」

敢えてイメージを言葉に置き換えると、こんな感じになるのでしょうか。

山ほどの言葉でいくら説明しても、その表情やしぐさで、その中のごまかしやすり替えをパッと見抜いてしまう・・。流暢でそつない言葉にほれぼれする人たちを尻目に、それを話す後姿や声の出し方で、話し手の腹の中が透視されてしまう・・。難解な言葉を駆使し、そのボキャブラリーの多さで圧倒できる有能な人が、その動きや顔色で心が見抜かれる・・。別の見方をするとギョっとする現実に直面します。自己表現の大切さから必死に言葉を選び、その言葉の限界を見つけると新たな言葉を探し獲得する、そんな連続の向こうに難解な言葉を駆使する立派な人間像を置こうとするその根っこを、見抜かれてしまう訳です。

「そんな言葉を使って伝えるお前の腹の中は、その言葉とは全く違うやろ?!」

そう知的障害といわれているメンバーたちから突き付けられているんじゃないか?という感覚が養われていくと、言葉とは別の世界で自分を掘り下げていくことの重要性を考えるようになります。

「どうも今日は昨日と比べて表情が硬い・・」「最近、後姿が小さくなった感じがする・・」 「会話していて、声の張りがなくなってきた感じがする・・」「去年と比べて動きが緩慢に なってきたように思える・・」

「今日は昨日と比べて表情が明るい」「最近、後姿が大きくなった感じがする」「会話していて、声の張りが出てきた感じがする」「去年と比べて動きがスピーディーになってきたように思える」

そう感じられる自分のアンテナを磨くこと、これまた難題に直面することになります。

お知らせ

鮎喰川クリーンアップ

今年のごみゼロ活動は4月29日、5月20日、5月21日、5月28日、5月29日に刈払機での草刈、空缶、ペットボトル、ポイ捨てゴミ拾いを行いました。

草刈は延べ2.5キロメートル6時間の作業、空缶、ペットボトル、ポイ捨ごみの量は例年並みです。

ただブラウン管テレビや洗濯機の不法 投棄がありました。これらの不法投棄物 を回収すれば、リサイクル料金後払いの ため、クリーン活動をしたこちらが処分 料を払わなくてはならないという、厄介 者です。

※今年はとくしまマラソン開催に向けて、3月23日にもメンバーのAさんとOさんがゴミ拾いをしてくれました。



手作りの新年会

「今年は新年会やらんの?」とメンバー達から催促される1月でした。昨年と違いスタッフ・ダブルドが抜け(一人は退職、もう一人は産休)、とても今までの月の宮生活棟での新年会は難しい。あれこれ思案する中、国府新館の食堂・作業スペースで行うことにしました。

今までのように全部自前で用意することは出来ないので、久しぶりに中洲市場のスーパーにおかずやお寿司をお願いしました。少ないスタッフで運営するためには、仕事の凝縮が必要となり、今までのやり方を大きく変えたのが3年程前。長~いご無沙汰に「病気でもしたかと思うとったんよ!」そんな声掛けに、嬉しいやら恥ずかしいやら。

国府作業所の台所でメンバーOとYが、頂戴したさつま芋や白菜を刻みます。 頂いた鹿肉も切り、二ンジン、タマネギ、油揚げ、餅を入れて、鹿汁の出来上がり。 味付けはスタッフMが担当です。

月の宮作業所担当の焼きソバは、メンバーFの自慢料理。あたたかい紅茶とコーヒーで乾杯した後は、争奪戦と化した奥のテーブルと、そこそこ穏やかに食べることの出来る手前のテーブルに明暗が分かれました。

「メンバーFがドンブリ2杯も御飯食べとる!寿司のネタだけ食べて下の飯はスタッフKに食べさせるのは、あかんのと違う?ワシが目を付けたエビフライを横取りした!」など、昭和の雰囲気満々で、うるさいことしきりです。

「新年会だから一言何か言ってよ!」と 号令もかかり、最後の片づけを皆がやり 終えて帰ったのは8時半。満足そうな表 情に決行の意味を思いました。

作業所連絡協議会

2月25日、ホテル千秋閣にて、県内の作業所・事業所で作る連絡協議会の研修懇親会が行われました。

「人権と虐待について」〜虐待防止の観点から〜と題して、徳島文理大学保健福祉学部人間福祉学科学科長・岩城由幸教授のお話を聞かせて頂きました。

第2部では相談会「こんなことで悩んでいる」一皆さんの悩みや相談事を皆の経験や知恵で解決しませんか一が行われました。無認可小規模作業所がルーツの連絡協議会では、横の繋がりで問題を解決していくことの大切さを思います。

いろいろな問題が出され、解決策が見つからない場合も多いですが、自分たちの所だけではなく他も同じ悩みを抱えているということが判ると、なぜか元気が出てきます。不思議なものです。

5月19日、県総合福祉センターにて、作業所連絡協議会総会が開催。「精神保健福祉を地域福祉の地平に導くために」と題して、四国学院大学社会福祉学部教授・西谷清美先生の講演がありました。

「・・世界的な社会福祉の流れは Social WelfareからWell-Beingに変わってきま した・・データからは、世界の精神科病院 入院患者の5人に1人が日本人という厳 しい現実があり・・精神保健福祉法も社会 福祉法に含めて行くのが本来的だと思い ます・・患者としてではなくごく普通の人 として・・たとえ症状を持っていても・・ ごく当たり前の生活が可能かどうか、生活 者としてみなすことこそ重要であると考 えます・・支援とは専門的支援とオルタナ ティブな支援との協働ですが・・アメリカ ではオルタナティブな支援が圧倒的に効 果があるという報告もされています・・支 援(指導)され続けてきた人は自尊感情が 低くなりやすく、自尊心を高めていくこと こそ、地域生活支援の重要課題と思いま व • • ।

精神保健福祉から地域福祉まで語れる 西谷先生のような幅の広さが、今の社会福祉学部に求められるのではないか?そん なことも感じさせられた、有意義な講演でした。

中学生職場体験

6月8日午前10時から午後3時まで、 徳島市入田中学校3年生5名の皆さんが 太陽と緑の会リサイクル作業所の活動を 体験しに来てくれました。

平成 19 年に始まったこの体験学習も今回で 8 回目。これまでに 61 人の生徒さんが参加して下さいました。

一緒に作業をしたり、話をしたり、中学生の皆さんにとっても、様々なハンディを持ったメンバーにとっても「非日常」のひとときとなり、さわやかな風が汗ばむ蒸し暑さの中を吹き抜けて行きました。

継続して来て頂けることに感謝です。



来所見学・参加

12月2日、同志社大学社会福祉学会第32回年次大会ポスターセッションに参加

2月15日、四国学院大学の富島先生と 学生6名の皆さんが、研修見学に来られま した。面談室兼休憩室にてプロジェクター を使って、ここの活動を紹介し、その後建 物案内等をさせて頂きました。

映画「そっちやない、こっちや」を鑑賞し、当会機関紙も事前に読んでいただくなど、事前準備もされての訪問です。支援学校の先生を目指す中、教育者としてこれだけは忘れないで欲しい! そんな想いを十分感じさせてもらえる富島先生のアプローチと、ここでの活動をどうリンクさせるか?難題ですが、面白い取り組みです。あっという間の3時間でした。

4月15日 香川県のNさんからのご紹介で、環境まちづくりNPOエコメッセ理事長の大嶽さんが見学に来られました。

Nさんは今から 24 年前に香川県でチャリティショップを運営する「セカンドハンド」を創設された方で、こちらから見学にお邪魔したり、見学やボランティアに来て下さったり、かれこれ十数年になります。

新スタッフ加入

4月1日から山下さん(京都府出身)が職員として活動に参加して下さるようになりました。

6年前にボランティアとして少し関わって下さったことがあり、福祉の現場経験が豊富で、アンテナの感度もよく、様々なハンディを持ったメンバーと同じ目線で向き合うことのできる方です。細く長く活動に関わって頂けたら、と思います。

Facebook(3/17)より

女性のお客様がレジのメンバーの A さんと話をしています。

「備品なので販売できない、と言われたのですが…。販売される可能性はあるでしょうか。あるとしたら、いつ頃になりそうでしょうか。」

売場でディスプレイ用に使用していた レトロで味わいのあるリユース品のちゃ ぶ台。

とても気に入られたご様子だったので、家具担当スタッフと相談し、販売させて頂くことにしました。

今日は海外からのお客様が何組もお越 しになり、レトロなテーブルなどを買っ て帰られました。

かつては「古い」と言われて粗大ごみに出されていた品物たち。

今は「昭和レトロ」と言われてスポットが当たるようになりましたが、この流れはずっと続くのでしょうか。

それとも、一時の流行で終わってしま うのでしょうか。



2月には大雪も降りました

当会の活動をご支援下さった皆様

§ 2018 年 1 月 16 日~2018 年 5 月 18 日 § (紙面の都合上、敬称は略させて頂きます)

ご寄付を下さった皆様

匿名、平田、匿名、磯田、匿名 (郵便振替口座)森、原、佐藤、太田、松尾、三代田、 足立、杉本、武田、黒須、荻野、杉浦

品物を持って来て下さった皆様(郵送含む)

○徳島市○阿部、横田、秋山、NPO 法人フードバンクとくしま、武井、須見、麻植、大島、中西、披田、山下、浜、新居、岩崎、笹尾、清水、岩見、森、竹原、佐藤、樫浦、山口、堀江、豊明保育園、南、川村、天神、水島、蒲原、北、両角、川崎、津田、林、小笠、上寺、岩田、村田、新居、徳永、湯浅、篠原、原田、東山、為実、瀬戸、三宅、岩見、笠井商店、井上、次藤、米澤、板東、藤村、平城、田中、八束、地域活動支援センターやまもも、小川、北條、尾形、小松、木村、松田、元山、井筒、藤田、横井、堀、藤園、杉浦、笹賀、八巻、清水、喜田、明智、吉岡、村川、坂東、ミセ、鈴木、岡、濱田、渕村、庄野、北條、松内、木村、角野、橋本、滝本、徳永、サイトウ、岩野、幸田、伊勢、岡、橋本、星合、丁野、小林、早川○那賀川町○前川○阿波市○中西○石井町○新居、長谷川、渡部、竹内、林○藍住町○遠藤、打樋、武田、二宮、四宮、多田、阿部、土井、青木○鳴門市○大竹、高橋、大橋○阿南市○原、高倉、谷、佐坂、山本、谷本○美馬市○宮城、緒方○勝浦町○大久保○小松島市○中山、玉田、雲井、飛田○北島町○増井、音澤○上板町○安永、藤田○吉野川市○佐々木、平島、村岡○東みよし町○瀬本○板野町○福井○松茂町○イカリ○大阪府○永□、藤田○兵庫県○伊地知、波部○福岡県○永峰○奈良県○平田○岡山県○高橋

(4月1日以降)○徳島市○赤坂、川尻、西浦、田村、郡、北野、松原、池上、田中、岡、佐野、渡邉、ムハマド、福家、蔭原、武市、笹田、西村、上田、庄野、酒井、白木、大和、吉本、野々瀬、岩崎、沖成、西出、矢部、両角、山野、岩田、広永、森、杉浦、菱井、津田、坂東、高志、丸岡、古谷○石井町○リサイクルパワー 岩本、辻、アベ○藍住町○阿部○阿南市○吉峰、上原○小松島市○鍋島、折目、庵本○吉野川市○田中、永尾○美馬市○中村○佐那河内村○森河○神山町○立山○千葉県○池田○山□県○古藤○香川県○木内、香川県隣保館連絡協議会○群馬県○山本○大坂府○吉岡○東京都○鎌田

品物を引き取りにお伺いさせて頂いた皆様

○徳島市○住友、広岡、広瀬、米田、龍江堂、野□、山□、藤井、高岡、笹森、大杉、林、山田、新居、井上、横山、宮下、山岡、小松、関□、飯井、明石、西村、長野、武市、百田、大古、小梯、川島病院(松平)、勝田、吉内、大寺、谷有、三好、金山、武市内科、吉永、島、栂岡、中田、森下、三木、阿部、安芸、浜田、日本野鳥の会、中上、西木、板東、川島、後藤、山本、舟井、村岡、大久保、岡田、宮越、戎、笹川、善服寺(木村)、徳島県看護協会、内田、福住、西村、滝、増田、西林、福原、祖川産婦人科、篠田、穴吹ハウジング板東、小川、藤崎、中川、長浜、渡辺、雲財、岩崎、佐川、菱井,吉野、柿本、今西、矢野、宇治製薬、工藤、板東、池田、沖野、西村、生田、高橋、久

保田、酒井、木村、田村、漆原、村賀、小林、森友、佐藤、島田、川崎、土肥、中島、勝岡、宮越、津川、森、あじさいの森、宮田、上田、森本、山下、武岡、ひだ、岩佐、安部、吉本、小倉、柿本、庄野、横山、矢野、久米、河野、土井、桜井、パソQ、野上、住友、横田、笹川、勝野、岡久、株式会社トリート、阿部、青木、細井、山岡、中田、鈴江、高木、松本〇藍住町〇福永、直江、近藤、宮成、林、佐野〇石井町〇松岡、三木、松本、黒川〇鳴門市〇麻植、大森〇北島町〇荒田、北島

(4月1日以降)○徳島市○豊田、桐川、中山、藤野、小田原、南本、森田、めだか保育園、鎌倉、宮本、竹内、川□、山部、宮城、河村、野上、津川、津崎、三上、吉松、米本、川野、奥津、渡辺、彦上、森本、三宅、浦川、吉田、道岡、木下、岩本、角田、安芸、川崎、多田、平、播磨、八木、梅崎、長谷部、増田、沖野、豊田、宮地、湯浅、森、岡田、七條、名賀、石堀、阿部、久保、山内、松崎、三宅、渡部、住友、中川、山田、宇治製薬、大山、桑原、井内、横山、井戸、鎌田、キリン堂(藤本)、新見、佐渡、滝畠、坂東、宮本、和田○藍住町○秦、谷、遠藤、岡田、古川、斉藤○北島町○中垣○小松島市○山下、森本○上板町○浜○鳴門市○佐藤、大和、前田

いつも当会の活動にご支援ご協力頂き、ありがとうございます。

品物を持って来て下さった皆様の中には、「何回も来て、書いているので」「名前は結構ですから」と、お名前を書かずに帰られた方も多数おられ、実際は上記の3倍以上の皆様からご協力を頂いております。

旬のお野菜や自家製のお漬物を差し入れて下さった皆様、メッセージを添えてお品物を郵送して下さった皆様、その他の皆様にもこの場を借りてお礼申し上げます。頂いた品物は大切に活用させて頂きます。リユース・リサイクル可能なものがございましたら、ぜひお電話下さい。

※本誌へのお名前の掲載を希望されない場合は「匿名希望」と記入して頂ければ幸いです。



編集後記~「人も物も捨てられる?」

昨年9月にリニューアルしたリユース自 転車売場に、ある会社の方が 10 台買いに 来られました。

「全部でいくらになりますか? 6万5000 円以内に収めんといかんのやけど…」

6万円で十分お釣りがくるのを確認されてホッとされていました。

リユース自転車は、頂いた自転車をパーツ交換、入念な整備・細かい調整を経た後、 きれいに磨き上げて売場に並べます。お引き取りから販売まで、整備以外のすべての 作業に、太陽と緑の会月の宮作業所のハン ディを持ったメンバーが関わっています。

1 ドル80円、ホームセンターで税抜き6980円の格安自転車が売り出された頃、

「中古なのに 5000 円もするんか。サラ(新品) が買えるわ」と言われ、自転車のリユース活動も崖っぷちに立たされました。 あきらめずに持続してきたことが今につながっています。

「修理してもらうより新品の自転車を買った方が安い」となると、自転車は「めげたらほうればええ(壊れたら捨てればい

NPO法人 太陽と緑の会

私たちは、「人も物も活かされる街造り」をテーマに、ハンディーのあるなしに関わらず「地域の中でその人がその人の足で立っていけること」を目指し、様々な方々(市民、ボランティア、行政)の支えを頂きながら土、日を含めた日常活動を行っています。

これは、日本の次世代型ソーシャルアクションモデルになると考えています。 このような活動のあり方により、徳島の将来や日本の未来が、幸多く、豊かであることを願っております。 い)」といって、使い捨てにされるようになります。捨てられた自転車が日本海の向こう側まで運ばれたこともあったとか。

「壊れたら捨てる」ということを繰り返していくと、物だけではなく人に対しても同じような感覚になってしまう瞬間があるかもしれません。「(人間も)役に立たなくなったら捨てればいい」「手間がかかるのは面倒だから捨てよう」と。

「人と物とは違うから、それは考えすぎではないか」とおっしゃる方もおられますが… (文責・小山)



メンバーによる自転車のパーツ交換

発行:NPO法人 太陽と縁の会

〒779-3120 徳島市国府町南岩延 107-1 TEL・FAXO88-642-1054 代表理事 杉浦 良 編集 小山 隆太郎 協力者名簿作成担当メンバー 岡田 ゆうメール押印・宛名シール添付担当メンバー堀 製本・発送作業担当メンバー 岡田 福住

<u>年会費:正会員1万円(総会議決権・事業決算報告)</u> 準会員1,000円(機関誌発送のみ)

郵便振替□座:01620-8-44703 加入者名:特定非営利活動法人太陽と緑の会